

令和7年1月9日(木)
肝炎対策協議会

肝炎対策事業実施状況について



コバトン さいたまっち

体系

- 国

肝炎対策基本法（平成21年法律第97号）

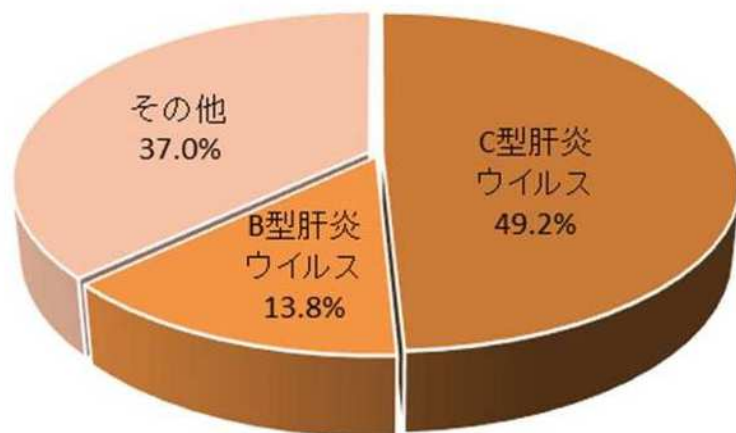
肝炎対策の推進に関する基本的な指針（令和4年3月7日一部改正）

- 県

埼玉県肝炎対策推進指針

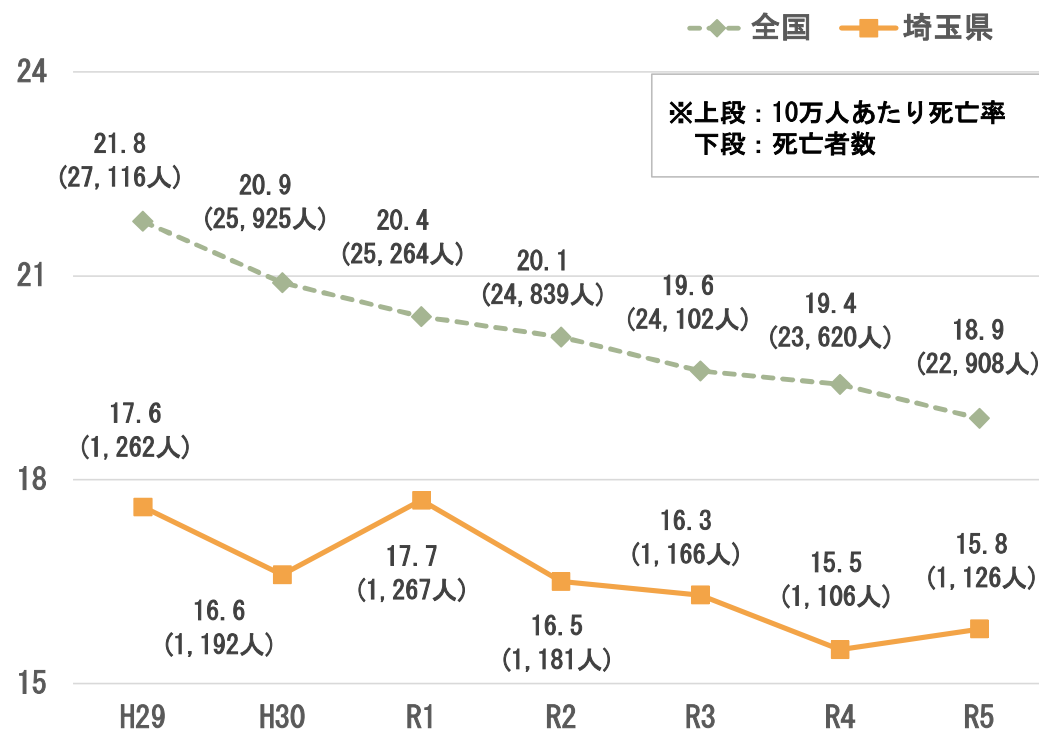
埼玉県地域保健医療計画（第8次）

肝がんの原因の約6割が
B型・C型肝炎ウイルス



出典:第22回全国原発性
肝癌追跡調査報告

肝がん死亡率の推移



人口動態調査(厚生労働省)を元に作成

拠点病院

●肝疾患診療連携拠点病院

○平成19年度 厚生労働省は各都道府県に対し、「肝疾患診療連携拠点病院」を1施設認定し、「かかりつけ医」と「肝臓病専門医」の病診連携をサポートすることを決定。

○平成20年3月1日 埼玉医科大学病院を「埼玉県肝疾患診療連携拠点病院」として認定。

○主な事業

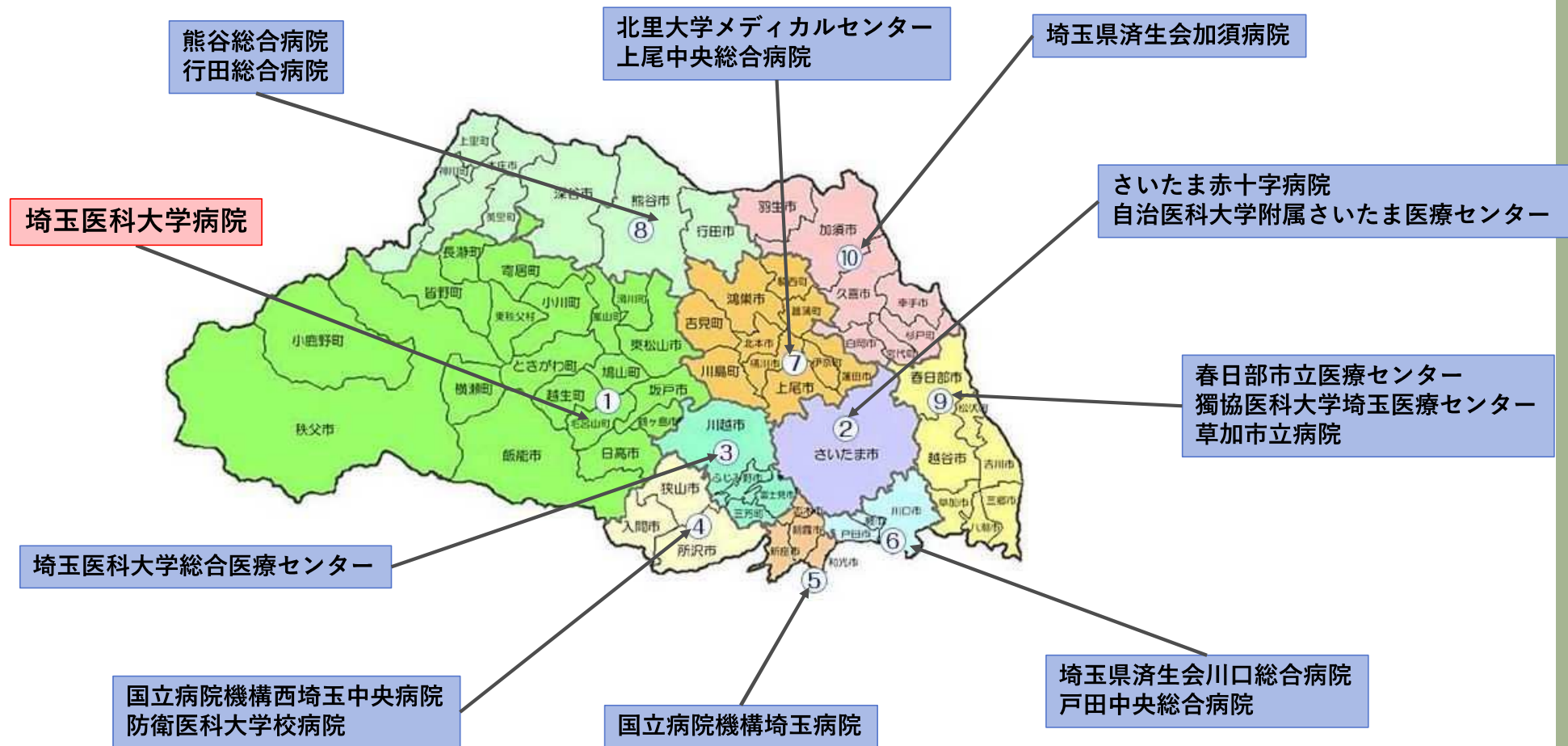
1. 肝疾患診療に係る一般的な医療情報の提供
2. 県内の専門医療機関等に関する情報の収集や紹介
3. 医療従事者を対象とした研修会、地域住民を対象とした講習会の開催
4. 肝疾患に関する相談支援に関する業務：肝臓病相談センター
5. 肝疾患に関する専門医療機関と協議の場の設定：肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

●地区拠点病院

○医療法上での医療圏と別に、肝臓病専門医の分布と道路網、鉄道路線との関連での肝疾患患者の移動形式を考慮し、全体を10地域に区分して各々に設置したもの。

現在、16の医療機関を地区拠点病院として位置づけている。

肝疾患診療連携拠点病院及び病院ネットワーク



拠点病院

- 肝臓病相談センター

平成21年4月 肝疾患の患者・家族及び肝炎診療従事者に対する相談支援のため、肝疾患診療連携拠点病院（埼玉医科大学病院）の協力のもと「埼玉県肝臓病相談センター」を設置。

肝疾患の患者、無症候性キャリア及び家族等の不安軽減と患者自身による最適な肝炎診療の選択、感染予防の推進を図る。

肝炎診療従事者への相談等に対応することにより、診療支援及び診療連携体制を確保する。

- 研修会

医療従事者向け	R 6 . 1 1 . 4	肝炎医療研修会
	R 6 . 1 1 . 4	肝炎医療コーディネーター研修会（養成・フォローアップ）
	R 6 . 1 2 . 5	肝炎地域コーディネーター養成研修会
一般県民向け	R 6 . 7 . 14	羽生市 ハイブリッド開催
	R 6 . 1 1 . 29	越谷市 ハイブリッド開催

● 病院検索

登録施設名		「東京」もしくは「ひらけ屋」でなくとも可い				
地域	まいなま市西區	まいなま市北區	まいなま市大宮區	まいなま市見沼區	まいなま市中央區	
	まいなま市東區	まいなま市浦和區	まいなま市西區	まいなま市緑區	まいなま市南區	
	川越市	熊谷市	川口市	所沢市	練馬市	
	新河市	坂倉市	狭山市	幸手市	奥松山市	
	春日部市	狭山市	羽生市	沼倉市	深谷市	
	上尾市	蓮沼市	越谷市	高市	戸田市	
	久留市	新河市	幸手市	松光市	新藤市	
	横川市	久留市	北本市	八潮市	宮土見市	
	三郷市	蓮沼市	越谷市	幸手市	横ヶ谷市	
	保岡市	東川市	むじみ部市	西岡市	北足立郡	
入間市	北本市	秩父市	比沼市	大東市		
鹿沼市	北足立郡					
登録・主催	エリカを官市視察指導		山形市視察指導		山形CT視察	
	山形市視察 (ISO8・SPIQ)		エリカ・スタジオ		DAAのみの見学視察	
	インターフェース市視察指導		山形市		ナジヤ・マックス市視察指導	
専門窓口との連携	専門窓口		読書室を設ける		コーディネーターを設ける	
セカンドステップ	対応可		対応不可			
エリカ	エリカ		エリカ			

檢索結果：168件

社会医療法人 さいたま市民医療センター 所在地 さいたま市西区角田299-1 診療科 内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿科外科、放射線科、眼科、耳鼻科、形成外科	医療法人三善会 市川病院 所在地 さいたま市西区市川1295-1 診療科 内科、消化器内科、循環器内科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻科、形成外科、眼科	おみた内科医院 所在地 さいたま市北区常盤町1-435 ちちみ内科クリニック 診療科 内科、小児科、皮膚科
--	--	---

肝炎コーディネーター

- 埼玉県肝炎医療コーディネーター

役 割

肝炎治療の重要性や検査結果の見方などの説明を行ったり、患者及び家族からの日常生活上の注意事項などの相談に応じる。

対象者、活動場所

埼玉県の肝疾患診療に関する地区拠点病院や一次医療機関、薬局等に勤務する職員で、埼玉県肝炎医療コーディネーター養成講習を受講した者

- 埼玉県肝炎地域コーディネーター

役 割

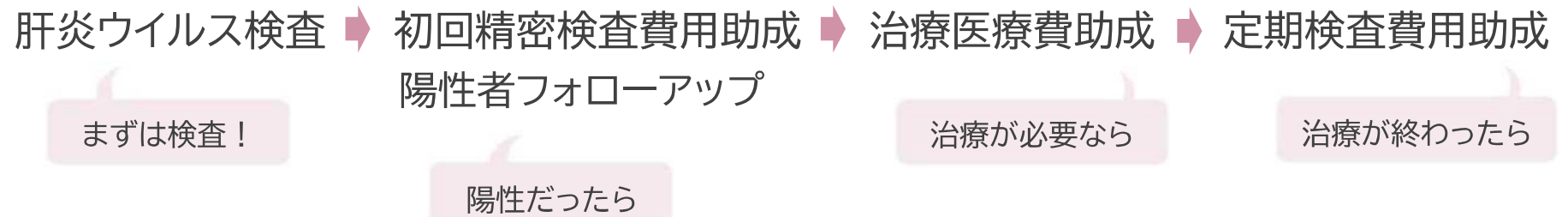
肝炎ウイルス検査の啓発、行政機関が実施する助成制度の案内等

対象者、活動場所

「民間企業等で労働者の健康管理を行う職員」「県や市町村の肝炎事業に関わる職員」「患者会会員」等で、埼玉県肝炎地域コーディネーター養成講習を受講した者

県が行っている肝炎検査、治療に係る施策

埼玉県で実施している事業



肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス
検査



初回精密検査
費用助成



治療医療費
助成



定期検査
費用助成

● 県が実施している肝炎ウイルス検査

※政令市・中核市は各市で実施

	保健所検査	委託医療機関検査
対象	感染の心配がある方(匿名)	1.～3. 全てに当てはまる方 1.さいたま市、川越市、川口市及び越谷市を除く、県内の市町村に在住の方 2.市町村が行う肝炎ウイルス検診や職場での健康診断等において 肝炎ウイルス検査を受ける機会のない方 3.(1)～(3)のいずれかに該当する方 (1)昭和63年(1988年)1月27日以前に生まれた方 (2)以下の感染リスク等がある方 ・平成4年(1992年)以前に輸血を受けたことがある。 ・平成6年(1994年)以前に非加熱凝固因子製剤やフィブリノゲン製剤を 使用された可能性がある。 ・長期にわたり血液透析を受けている。 ・大きな手術を受けたことがある。 ・臓器移植を受けたことがある。 ・過去に健康診断等で肝機能検査の異常を指摘されたことがある。 ・感染したことについての不安がある。 (3)医師が必要と認めた場合
費用	無料	無料
実施	・県内各保健所 ・月1～2回(予約制)	・県内約1600の医療機関 ・通年(医療機関による)

初回精密検査費用助成

肝炎ウイルス
検査



初回精密検査
費用助成



治療医療費
助成



定期検査
費用助成

●目的

精密検査の費用を助成することで、

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方が医療機関を受診しやすくする。

●概要

下記の肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、

初めて医療機関で精密検査を受けた際の検査費の自己負担分を助成する。

✓ 県や市町村が実施する
肝炎ウイルス検査

✓ 職域が実施する
肝炎ウイルス検査

✓ 医療機関の手術前検査

肝炎治療医療費助成



●対象医療

B型ウイルス性肝炎、C型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法

B型ウイルス性肝炎	C型ウイルス性肝炎
インターフェロン治療	インターフェロン治療
核酸アナログ製剤治療	インターフェロンフリー治療

●助成の内容

対象の医療に係る保険診療の患者負担額から一部自己負担を除いた額

患者自己負担額	助成額	保険者負担
保険診療自己負担額		※高額療養費の支給がある場合は、自己負担額から差し引いて助成

肝がん・重度肝硬変 治療研究促進事業

肝炎ウイルス
検査



初回精密検査
費用助成



治療医療費
助成



定期検査
費用助成

●助成開始の条件

- ① 医療機関(どこでも良い)・保険薬局において
- ② 対象医療により
- ③ 高額療養費が支給される月が
- ④ 1回以上(連続していなくても可)

- ① 指定医療機関・保険薬局において
- ② 対象医療により
- ③ 高額療養費が支給される月が
- ④ 2回目以降



ここから助成開始

← 24月(助成対象となる月を含む) →

●助成の内容

対象医療に要する保険診療の患者負担額のうち、高額療養費算定基準に達した場合、1月につき患者負担は1万円までとし、それ以外の額を助成する。

※高額療養費該当月でない場合
医療費助成の対象外となる

肝炎定期検査費用助成



●助成の内容

対象の検査に係る保険診療の患者負担額から一部自己負担を除いた額

●自己負担額

	住民税非課税世帯	市町村民税(所得割)年額 235,000未満の世帯
慢性肝炎	0円	2,000円
肝硬変・肝がん	0円	3,000円

(例)

- ・医療機関窓口支払額 5,000円
- ・うち”肝炎検査”の費用 4,000円

◆助成額

- ・非課税世帯の方の場合： 4,000円
- ・課税世帯・慢性肝炎の場合： 2,000円
- ・課税世帯・肝がんの場合： 1,000円

健康増進事業における陽性者フォローアップ

●実績

	陽性者数	同意者数	医療機関 受診済数	同意率 (同意者数／陽性者数)	医療機関受診率 (受診済数／陽性者数)
R2	196	167	76	85.2%	38.8%
R3	237	209	79	88.2%	33.3%
R4	229	159	66	69.4%	28.8%

※R4:これから同意取得・フォローアップ実施の人がいるため、同意率・医療機関受診率が低くなっている

●実施方法（63市町村）

郵送(47)、電話(43)、面接(8)

- ・郵送で返信がない場合に電話で実施
- ・日本語でのやり取りが難しい場合に面接で実施

肝炎対策実施状況

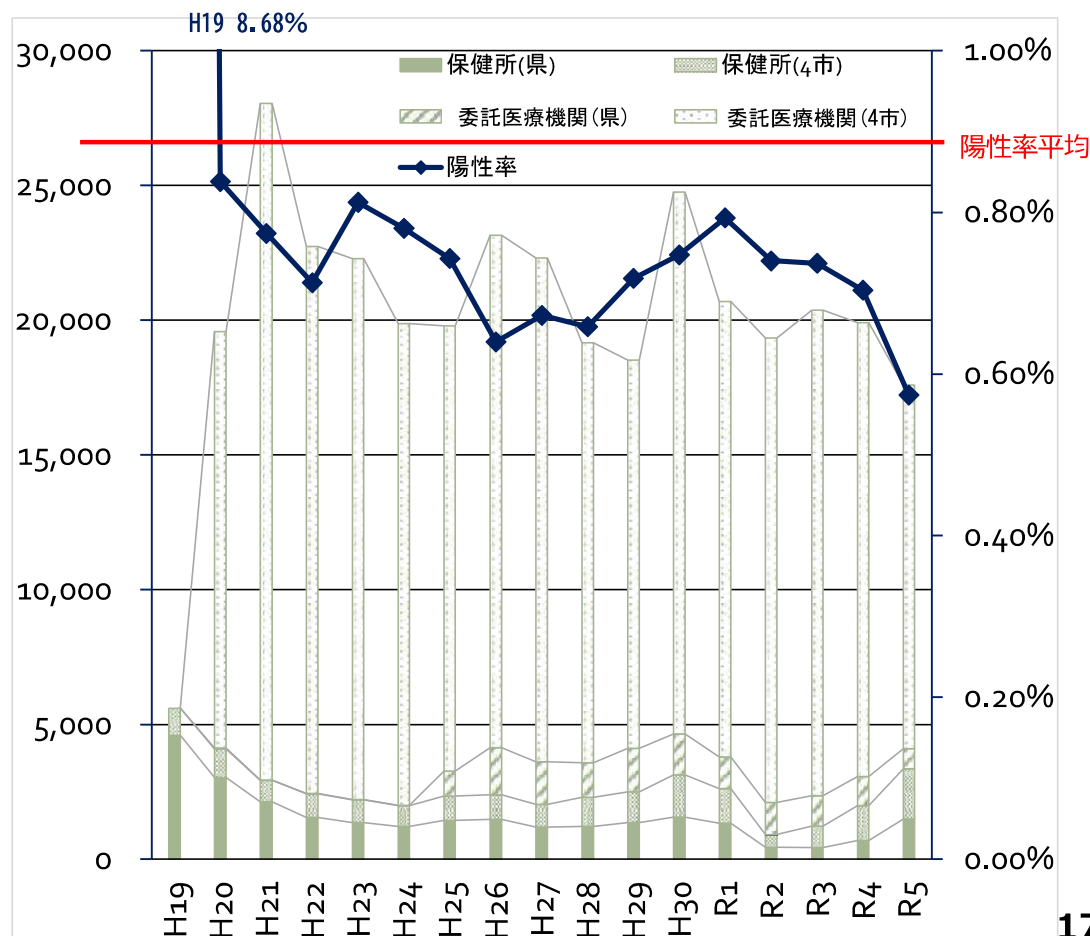
- 1 肝炎ウイルス検査
- 2 職域との連携
- 3 重症化予防事業
- 4 肝炎治療特別促進事業
- 5 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業
- 6 肝炎医療研修会
- 7 普及啓発
- 8 肝臓病相談センターの運営状況

1 肝炎ウイルス検査 特定感染症検査等事業（B型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：件

B型肝炎ウイルス	保健所検査		委託医療機関での検査		受検者合計 (B型)	陽性者合計 (B型)	感染者率 (B型)
	県	さいたま市 川口市 越谷市	県委託	さいたま市 川口市 越谷市			
H19	4,606	992	—	—	5,598	486	8.68%
H20	3,046	1,048	42	15,433	19,569	164	0.84%
H21	2,134	794	16	25,094	28,038	217	0.77%
H22	1,557	870	12	20,284	22,723	162	0.71%
H23	1,367	839	7	20,068	22,281	181	0.81%
H24	1,217	768	17	17,867	19,869	155	0.78%
H25	1,446	904	936	16,502	19,788	147	0.74%
H26	1,473	926	1,749	18,995	23,143	148	0.64%
H27	1,196	845	1,581	18,683	22,305	150	0.67%
H28	1,211	1,098	1,280	15,555	19,144	126	0.66%
H29	1,365	1,148	1,606	14,401	18,520	133	0.72%
H30	1,571	1,558	1,527	20,096	24,752	185	0.75%
R1	1,343	1,280	1,176	16,877	20,676	164	0.79%
R2	446	467	1,200	17,214	19,327	143	0.74%
R3	430	793	1,140	18,001	20,364	150	0.74%
R4	696	1,290	1,087	16,828	19,901	140	0.70%
R5	1,482	1,873	752	13,489	17,596	101	0.57%
合計	26,586	17,493	14,128	285,387	343,594	2,952	0.86%

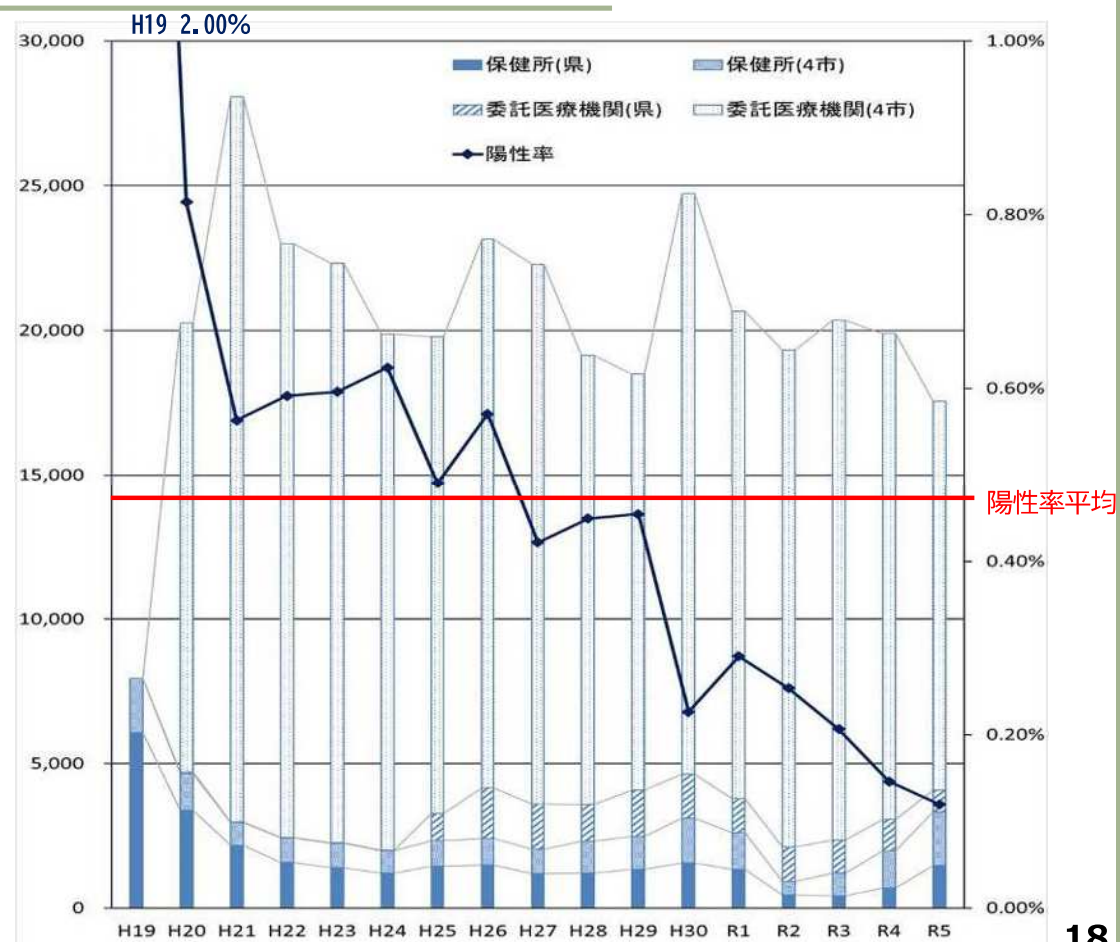


1 肝炎ウイルス検査 特定感染症検査等事業（C型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：件

C型肝炎ウイルス	保健所検査		委託医療機関での検査		受検者合計 (C型)	陽性者合計 (C型)	感染者率 (C型)
	県	さいたま市 川口市 越谷市	県委託	さいたま市 川口市 越谷市			
H19	6,060	1,883	—	—	7,943	159	2.00%
H20	3,379	1,278	49	15,553	20,259	165	0.81%
H21	2,170	780	18	25,089	28,057	158	0.56%
H22	1,567	861	12	20,562	23,002	136	0.59%
H23	1,400	844	7	20,066	22,317	133	0.60%
H24	1,216	765	17	17,874	19,872	124	0.62%
H25	1,438	897	936	16,503	19,774	97	0.49%
H26	1,475	926	1,749	18,993	23,143	132	0.57%
H27	1,185	842	1,581	18,683	22,291	94	0.42%
H28	1,212	1,096	1,280	15,556	19,144	86	0.45%
H29	1,338	1,141	1,606	14,401	18,486	84	0.45%
H30	1,560	1,549	1,527	20,097	24,733	56	0.23%
R1	1,339	1,264	1,176	16,876	20,655	60	0.29%
R2	445	464	1,200	17,205	19,314	49	0.25%
R3	418	786	1,140	17,997	20,341	42	0.21%
R4	689	1,288	1,087	16,825	19,889	29	0.15%
R5	1,465	1,860	752	13,484	17,561	21	0.12%
合計	28,356	18,524	14,137	285,764	346,781	1,625	0.47%

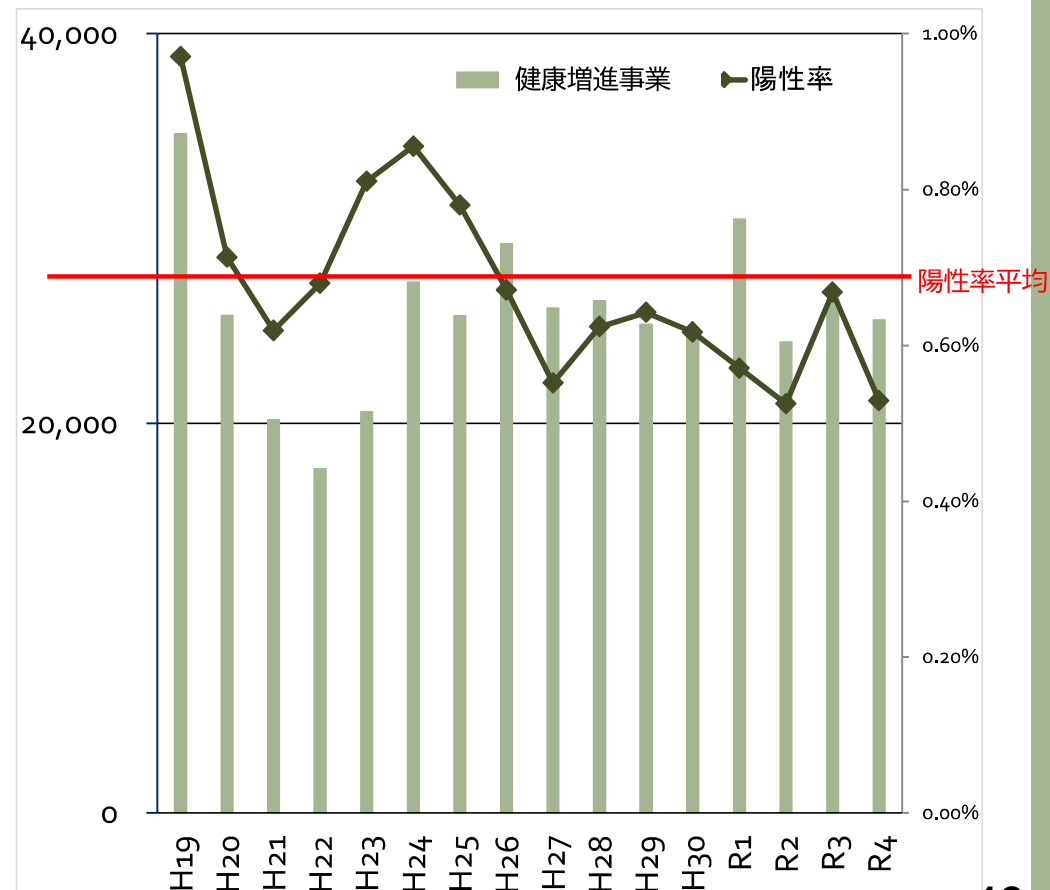


1 肝炎ウイルス検査 健康増進事業（B型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：人

B型肝炎ウイルス	健康増進事業	陽性者合計	感染者率（B型）
H19	34,828	338	0.97%
H20	25,521	182	0.71%
H21	20,187	125	0.62%
H22	17,662	120	0.68%
H23	20,601	167	0.81%
H24	27,234	233	0.86%
H25	25,510	199	0.78%
H26	29,210	196	0.67%
H27	25,908	143	0.55%
H28	26,274	164	0.62%
H29	25,071	161	0.64%
H30	24,467	151	0.62%
R1	30,475	174	0.57%
R2	24,181	127	0.53%
R3	26,337	176	0.67%
R4	25,313	134	0.53%
合計	408,779	2,790	0.68%

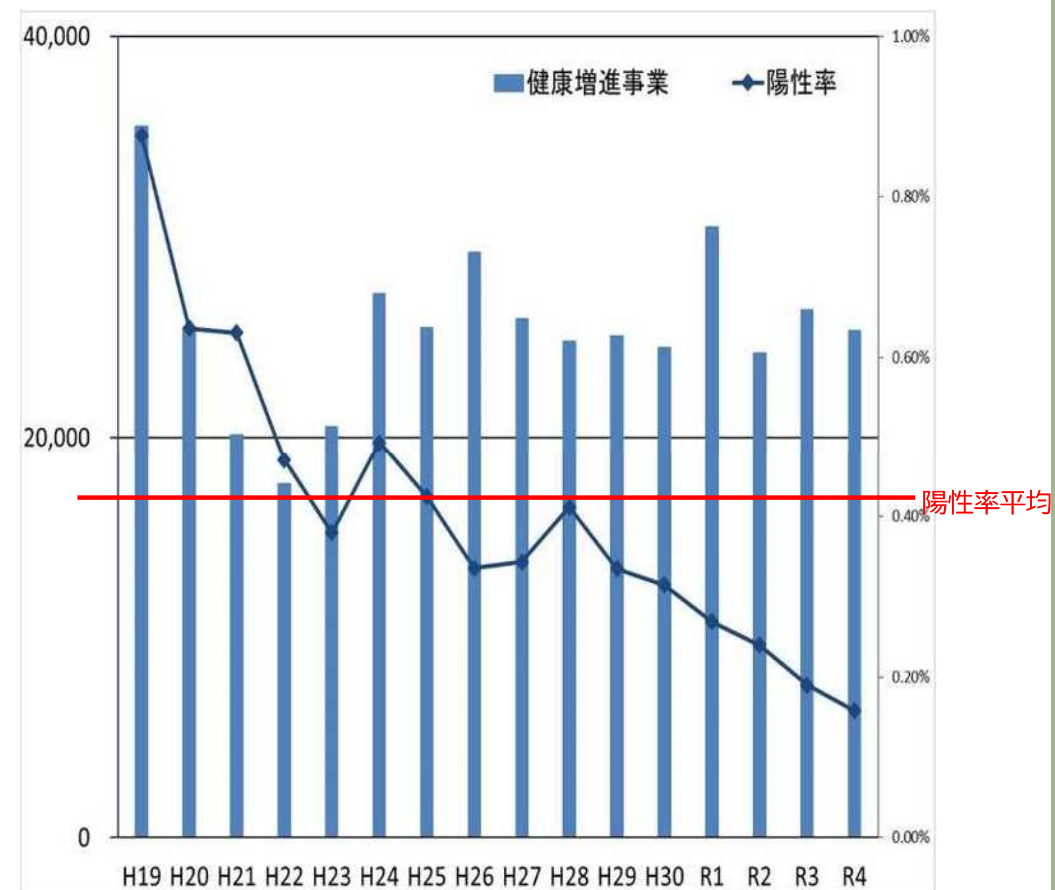


1 肝炎ウイルス検査 健康増進事業（C型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：人

C型肝炎ウイルス	健康増進事業	陽性者合計	感染者率（C型）
H19	35,469	311	0.88%
H20	25,449	162	0.64%
H21	20,137	127	0.63%
H22	17,611	83	0.47%
H23	20,540	78	0.38%
H24	27,156	134	0.49%
H25	25,444	108	0.42%
H26	29,209	98	0.34%
H27	25,910	89	0.34%
H28	24,783	102	0.41%
H29	25,068	84	0.34%
H30	24,468	77	0.31%
R1	30,475	82	0.27%
R2	24,202	58	0.24%
R3	26,354	50	0.19%
R4	25,314	40	0.16%
合計	407,589	1,683	0.41%

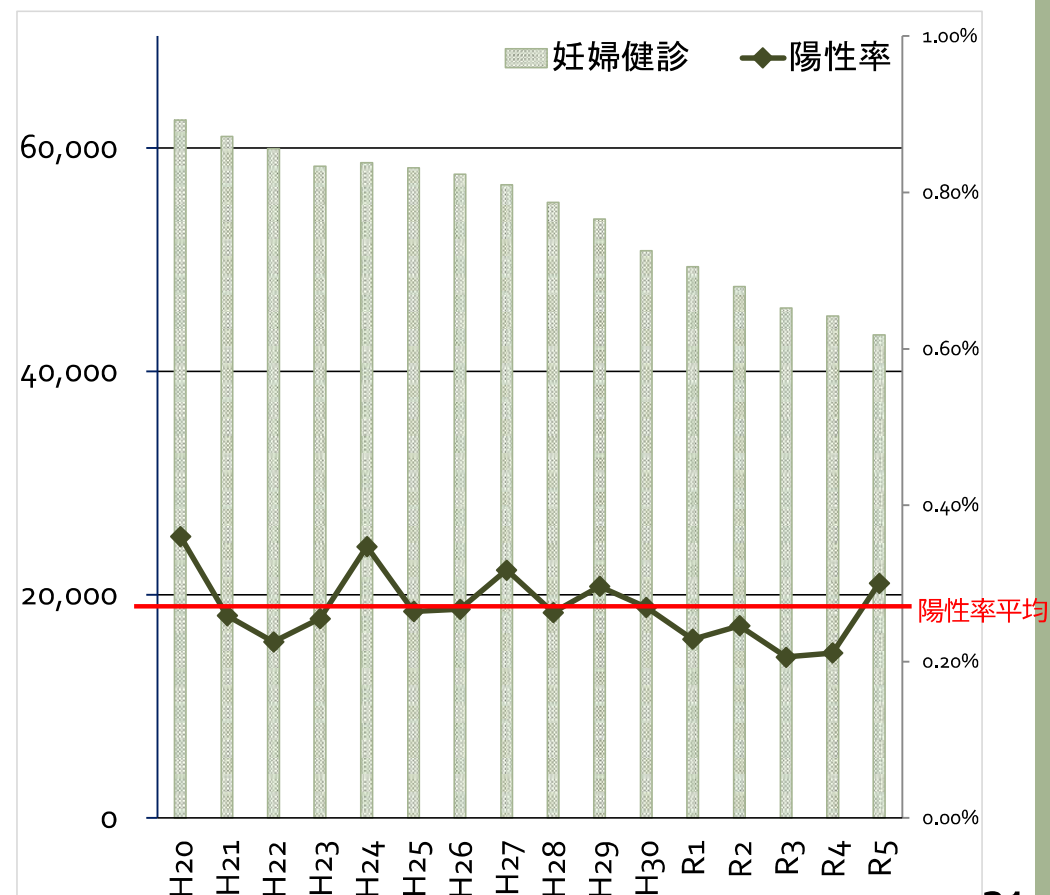


1 肝炎ウイルス検査 妊婦健診（B型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：人

B型肝炎ウイルス	妊婦健康 診 査	陽性者 合計	感染者率 (B型)
H20	62,455	225	0.36%
H21	61,016	158	0.26%
H22	59,939	135	0.23%
H23	58,364	149	0.26%
H24	58,690	204	0.35%
H25	58,234	154	0.26%
H26	57,649	154	0.27%
H27	56,698	180	0.32%
H28	55,125	145	0.26%
H29	53,629	159	0.30%
H30	50,786	137	0.27%
R1	49,359	113	0.23%
R2	47,566	117	0.25%
R3	45,656	94	0.21%
R4	44,947	95	0.21%
R5	43,277	130	0.30%
合計	863,390	2,349	0.27%

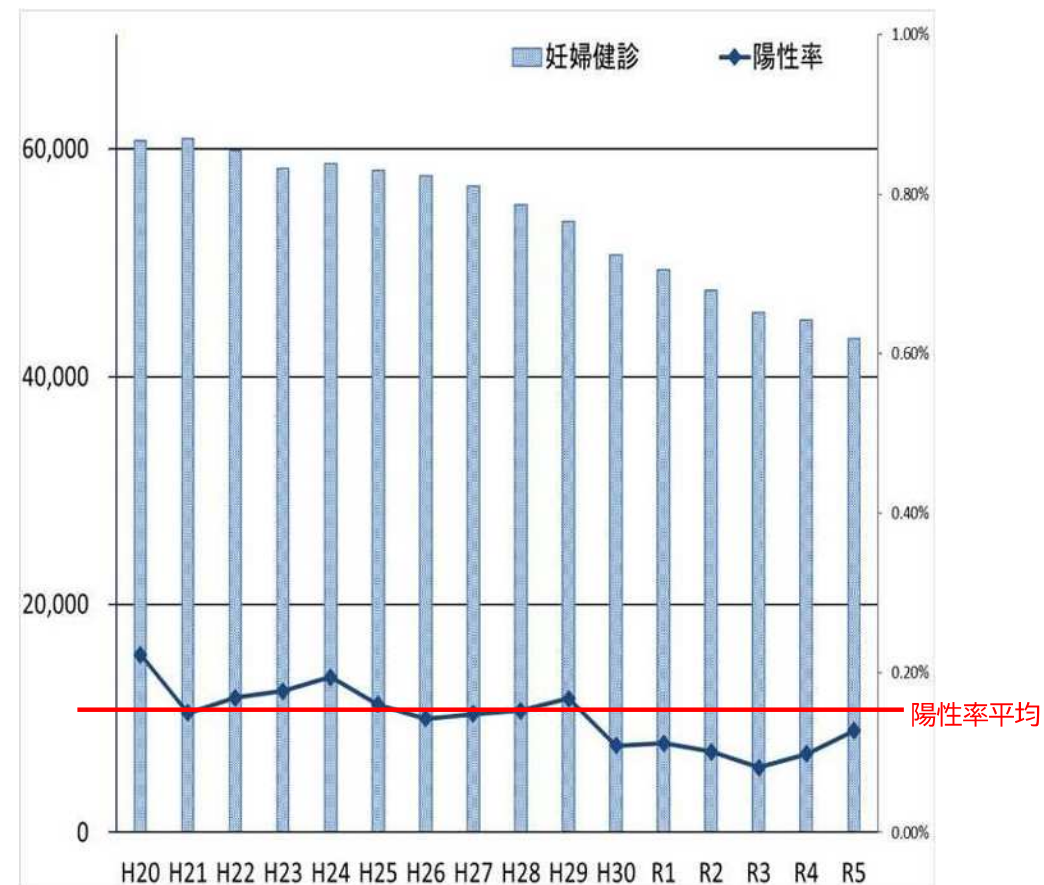


1 肝炎ウイルス検査 妊婦健診（C型）

※越谷市は平成27年度、
川口市は平成30年度から

単位：人

C型肝炎ウイルス	妊婦健康 診 査	陽性者 合計	感染者率 (C型)
H20	60,685	135	0.22%
H21	60,896	91	0.15%
H22	59,816	101	0.17%
H23	58,295	103	0.18%
H24	58,651	114	0.19%
H25	58,141	93	0.16%
H26	57,619	82	0.14%
H27	56,686	84	0.15%
H28	55,110	84	0.15%
H29	53,628	90	0.17%
H30	50,680	55	0.11%
R1	49,372	55	0.11%
R2	47,571	48	0.10%
R3	45,638	37	0.08%
R4	44,947	44	0.10%
R5	43,279	55	0.13%
合計	861,014	1,271	0.15%



2 職域との連携

(1) 目的

保険者の協力を得て、事業所とその従業員に対し、肝炎に係る正しい知識を普及啓発し、職場健診における肝炎ウイルス検査の受検を促すことで、県民の肝炎ウイルス検査の受検率を高める。

(2) 連携内容

○肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨【通年】

- ・ 3か月に1度程度、肝炎ウイルス検査陽性者のレセプトを確認し、検査後に受診をしていない者に受診勧奨を実施。

※送付物

受診勧奨文書、受診勧奨チラシ、埼玉県の治療費助成制度の案内チラシ、各地区拠点病院の案内チラシ

○肝炎地域コーディネーター養成促進

- ・ メールマガジンで養成講座案内を掲載

○受検勧奨啓発資材の作成・送付【3月予定】

- ・ 健診委託医療機関にチラシ配布
- ・ 協会けんぽの加入事業所向け案内リーフレットに肝炎ウイルス検査に関することを掲載。

事業主の皆様へ ～埼玉県からのお知らせ～

1. 埼玉県がん検診受診促進宣言事業所登録制度のご案内

埼玉県では、職場を支える従業員を守る事業所・事業主の皆様を応援しています！
「がん検診受診促進宣言」をし、職場におけるがん検診の受診促進と、治療と仕事の両立支援を進めましょう！

宣言内容

詳しくは「[埼玉県 もっと知ろう！脳と心臓のこと](#)」で検索

4. 肝炎ウイルス検査 退職までに必ず一度は受けましょう

肝炎ウイルスの感染により、
ウイルス性肝炎→肝硬変→肝がんに病態が進行するおそれがあります。
まずは、肝炎ウイルス検査(血液検査)を受けて、感染の有無を確認することが大切です。
事業主の皆様は、従業員の方への周知・検査受検への配慮をお願いいたします。

詳しくは「[埼玉県 肝炎検査](#)」で検索

3 重症化予防事業

(1) 事業概要 (平成27年度～)

○陽性者フォローアップ事業 本人の同意を得て、専門医療機関への受診勧奨を行うもの

○検査費用助成事業

- ・初回精密検査費用助成：検査で陽性となった方が最初に受診する精密検査の費用助成
- ・定期検査費用助成：肝炎ウイルスへの感染による慢性肝炎、肝硬変及び肝がん患者への定期検査費用の助成

(2) 事業実績

○陽性者フォローアップ事業

年 度	実施人数
H30	1 7 5 人
R 1	1 8 6 人
R 2	1 5 6 人
R 3	2 6 9 人
R 4	2 1 1 人
R 5	2 4 4 人

※埼玉医大委託分

○検査費用助成事業

年 度	初回精密検査		定期検査	
	件数 (件)	実績額 (円)	件数 (件)	実績額 (円)
H28	57	476,300	290	1,162,030
H29	67	422,350	349	1,546,500
H30	59	402,760	493	2,129,650
R 1	57	374,200	499	2,281,800
R 2	51	350,450	494	2,296,743
R 3	63	448,190	470	2,167,441
R 4	56	331,493	501	2,151,378
R 5	35	154,850	472	2,166,114

4 肝炎治療特別促進事業

(1) 事業概要

C型ウィルス性肝炎の根治を目的として行う
インターフェロン治療とインターフェロンフリー
治療及びB型ウィルス性肝炎に対して行われる
インターフェロン治療と核酸アナログ製剤治療
について助成する制度

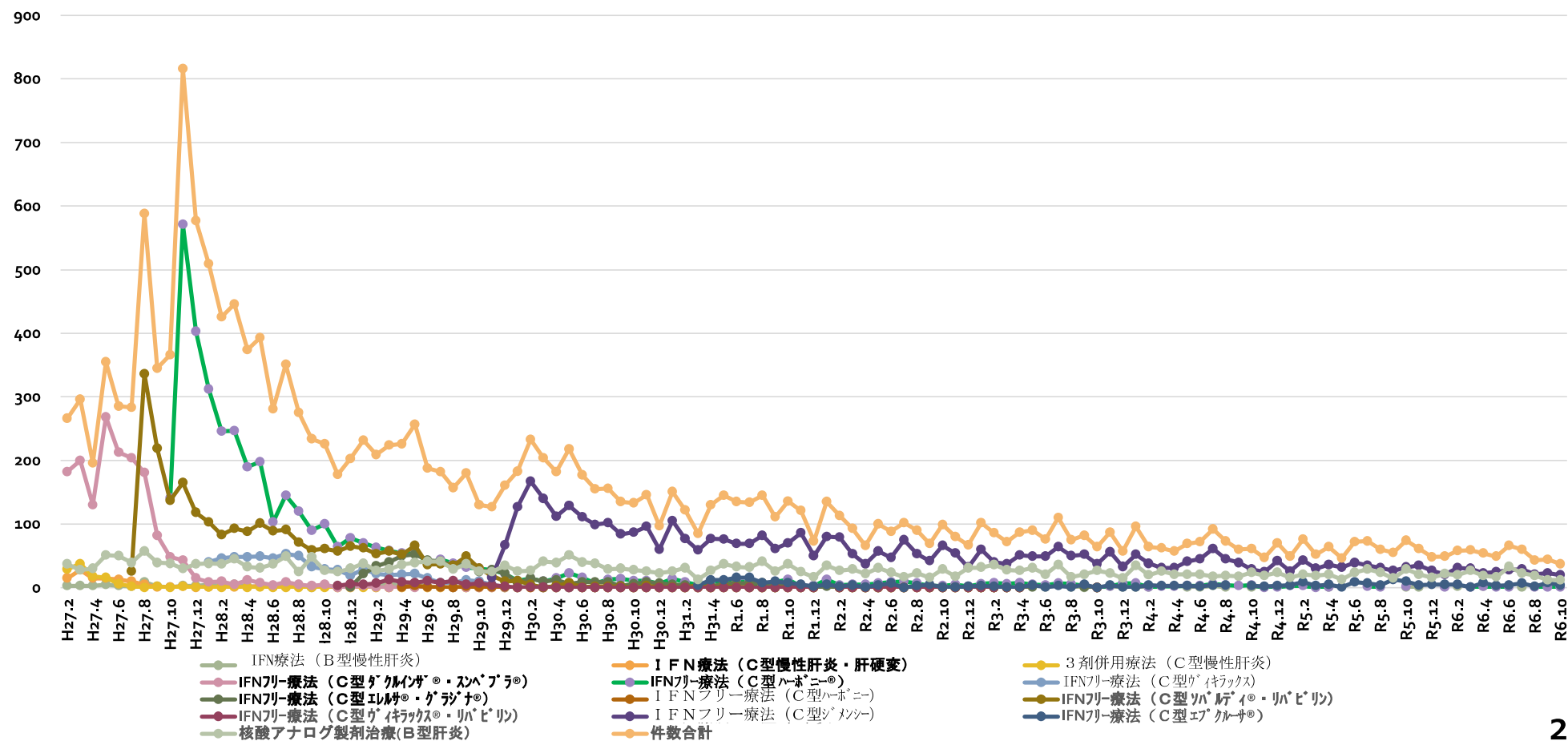
(2) 事業実績

肝炎治療受給者証交付状況
(令和5年度)

R5年度		
診断名	受給者数 (人)	受給者 割合
IFN療法(B型慢性肝炎)	6	0.8%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1 ハーボニー®)	3	0.4%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1 エレルサ®・グラジナ®)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1 マウイレット®)	148	20.9%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1 エフクルーサ®)	15	2.1%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ2 ハーボニー®)	5	0.7%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ2 ソバルディ®・リハビリン)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ2 マウイレット®)	157	22.1%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ2 エフクルーサ®)	20	2.8%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1 ハーボニー®)	1	0.1%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1 エレルサ®・グラジナ®)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1 マウイレット®)	30	4.2%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1 エフクルーサ®)	9	1.3%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ2 ハーボニー®)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ2 ソバルディ®・リハビリン)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ2 マウイレット®)	19	2.7%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ2 エフクルーサ®)	2	0.3%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1,セロ2以外 ソバルディ®・リハビリン)	0	0.0%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1,セロ2以外 マウイレット®)	8	1.1%
IFNフリー療法(C型慢性肝炎 セロ1,セロ2以外 エフクルーサ®)	4	0.6%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1,セロ2以外 マウイレット®)	1	0.1%
IFNフリー療法(C型代償性肝硬変 セロ1,セロ2以外 エフクルーサ®)	1	0.1%
IFNフリー療法(C型非代償性肝硬変 セロ1エフクルーサ®)	14	2.0%
IFNフリー療法(C型非代償性肝硬変 セロ2エフクルーサ®)	6	0.8%
IFNフリー療法(C型非代償性肝硬変 セロ1、2以外エフクルーサ®)	1	0.1%
核酸アナログ製剤治療(B型肝炎)	259	36.5%
合計	709	100%

4 肝炎治療特別促進事業

平成27年2月～令和6年10月
肝炎治療受給者証交付状況（月別）



5 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(1) 趣 旨

○医療費助成

B型・C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の患者の医療費の負担の軽減
研究事業

肝がん・肝硬変治療にかかるガイドラインの作成など、肝がん・重度肝硬変の治療研究の促進

(2) 利用状況

○参加者証新規交付件数

平成30年度	1 件
令和元年度	9 件
令和2年度	2 件
令和3年度	28 件 ※条件緩和
令和4年度	15 件
令和5年度	18 件
令和6年度	23 件 ※条件緩和（令和7年1月1日現在）

○指定医療機関

61 機関 （令和7年1月1日現在）

5 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(3) 制度改正

○高額療養費限度額の月数の要件について、制度改正（R6.4.1～）

旧

高額療養費が支給される月が
2回以上(連続していなくても可)

高額療養費が支給される月が
3回目以降

ここから助成開始

12月(助成対象となる月を含む)

新

高額療養費が支給される月が
2回目以降

ここから助成開始

24月(助成対象となる月を含む)

6 肝炎医療研修会

肝炎医療研修会

実施日 令和6年11月4日(祝・月)
受講者数 96人

肝炎医療コーディネーター研修会

実施日 令和6年11月4日(祝・月)
受講者数

- ・医療コーディネーター養成研修会 105人
- ・フォローアップ研修会 69人

肝炎地域コーディネーター養成研修会

実施日 令和6年12月5日(木)
受講者数 70人

埼玉県肝炎医療研修会「肝疾患の病態と治療」

共催：埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会・埼玉県医師会

日時：令和6年11月4日(祝) 9:30~16:30

会場：埼玉県民健康センター 大ホール

【更新】研修5~参加の方は10:55頃までにご来場いただき、受付してください。

※途中退会された場合、受講証明書は発行できません。

プログラム		新規受講医師	更新医師
9:30	開会のあいさつ	持田 智	
9:35	研修1:「肝炎ウイルスと肝疾患の病態」	菅原 通子	
9:55	研修2:「肝炎ウイルスマーカーの読み方」	中山 伸朗	
10:15	研修3:「肝機能検査値の読み方」	菅原 通子	
10:35	研修4:「肝臓の画像診断」	菅原 通子	
<休憩 10分>			
11:05	研修5:「B型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人	
11:25	研修6:「B型肝炎の再活性化とその対策」	中尾 将光	
11:45	研修7:「C型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人	
12:05	研修8:「MASLD、MASH」	富谷 智明	
<昼食休憩・情報提供>			
13:00	研修9:「急性肝炎、急性肝不全」	中山 伸朗	
13:20	研修10:「自己免疫性肝疾患」	富谷 智明	
13:40	研修11:「門脈圧亢進症」	今井 幸紀	
14:00	研修12:「慢性肝不全の治療:腹水、肝性脳症、栄養療法」	富谷 智明	
<休憩 10分>			
14:30	研修13:「肝臓の診断と治療ガイドライン」	今井 幸紀	
14:55	研修14:「肝臓のIVR治療と分子標的薬」	今井 幸紀	
<休憩 10分>			
15:30	特別講演:「B型・C型肝炎の最新の話題、医療制度について」		
埼玉医科大学 肝臓・消化器内科 教授 持田 智先生			
16:30	閉会のあいさつ	持田 智	

【問い合わせ先】

埼玉県肝臓病相談センター(埼玉医科大学病院内)

E-mail: kanzo@1972.saitama-med.ac.jp

7 普及啓発

○7月28日世界（日本）肝炎デーに合わせて実施

- ・ポスター、チラシ配布
（第一生命、各市町村、各医療機関）

- ・ラジオ「朝情報★埼玉」

「健康Week」FM NACK5

○イベントでの資材配布

- ・11月14日 県庁オープンデー

*その他、制度案内は例年通り作成



8 肝臓病相談センター運営状況(令和5年度)

(1) 相談件数

117件

(2) 相談対象別の相談件数(件)

本人	家族	医療機関	その他
93	13	4	7

※重複あり

(3) 相談内容(件)

肝疾患の 各種症状	診断・治療 内容	医療費・ 医療費助成	専門医の 紹介	感染の 心配	その他
41	21	17	24	15	70

※重複あり

埼玉県肝炎対策推進指針（令和4年度～令和8年度）の評価

資料 1 - 2

施策と主な取組事項				令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	目標	達成状況	
第 1 肝炎の予防のための施策	妊婦健康診査時の 肝炎ウイルス検査体制		検査数	91,294 件	89,894 件	86,556 件	件	件	件			
			(累計)	(1,066,488 件)	(1,156,382 件)	(1,242,938 件)	(件)	(件)	(件)			
	B型肝炎ワクチン接種の推進		接種率	1回目 102.4 % 2回目 98.6 % 3回目 56.8 %	1回目 102.0 % 2回目 98.5 % 3回目 56.0 %	% % %	% % %	% % %				
			肝炎検査を受けたことがある県民の割合		認識受検率	33.4 %	33.9 %	21.5 %	%	%	%	7 0 %
第 2 肝炎検査の実施体制の 充実			非認識受検を 含む受検率	67.8 %	69.2 %	82.9 %	%	%	%			
	肝炎ウイルス検査数	県保健所・県委託 医療機関分	検査数	3,128 件	3,559 件	4,451 件	件	件	件			
			(累計)	(47,748 件)	(51,307 件)	(55,758 件)	(件)	(件)	(件)			
			市町村検診分 (妊婦健診除く)	検査数	90,268 件	86,858 件	件	件	件	件		
		(累計)	(90,268 件)	(177,126 件)	(件)	(件)	(件)	(件)				
第 3 肝炎医療を提供する体制の確保	初回精密検査費用助成数（累計）			64 件 (410 件)	57 件 (467 件)	34 件 (501 件)	件 (件)	件 (件)	件 (件)			
	定期検査費用助成（累計）			476 件 (2,690 件)	503 件 (3,193 件)	471 件 (3,664 件)	件 (件)	件 (件)	件 (件)			
	肝炎患者、医療関係者、職域の健康管理者等への 肝炎医療情報提供			「私の肝臓健康手帳」 「相談対応ガイド」 妊婦健診陽性者向け資材		「私の肝臓健康手帳」 妊婦健診陽性者向け資材		「私の肝臓健康手帳」 妊婦健診陽性者向け資材				
	日本肝臓学会肝臓専門医数			258 人	- 人	303 人	人	人	人			
	埼玉県肝炎医療研修会受講修了医師数 (有効期間内の数)			84 人 (655 人)	115 人 (646 人)	89 人 (589 人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)			
第 4 肝炎の予防及び肝炎医療に関する人材の育成	肝臓専門医及び研修会受講修了医師の確保 医療圏当たり10人（人口10万対）			達成率 (達成地域/医療圏数)	50 %	60 %	90 %	%	%	%	1 0 0 %	
	肝炎コーディネーターの養成件数	医療	修了者数	96 人	77 人	59 人	人	人	人			
			有効期間内の数	716人（うち県外13人）	661人（うち県外16人）	651人（うち県外19人）						
			地域	修了者数	51 人	59 人	50 人	人	人	人		
			有効期間内の数	221人（うち県外15人）	269人（うち県外22人）	273人（うち県外29人）	(人)	(人)	(人)			
第 5 肝炎に関する知識の普及と肝炎患者等の人権の尊重	肝炎医療コーディネーターの設置 医療圏あたり10人（人口10万対）		達成率 (達成地域/医療圏数)	50 %	40 %	50 %	%	%	%	1 0 0 %		
	肝炎地域コーディネーターの設置 医療圏あたり3人（人口11万対）		達成率 (達成地域/医療圏数)	40 %	60 %	60 %	%	%	%	1 0 0 %		
	正しい知識の普及啓発			ポスター・リーフレット・チラシ 市民公開講座の開催（委託事業） 県広報誌（彩の国だより）による広報 県広報番組（ラジオ）による広報 県広報番組（ラジオ）による広報	ポスター・リーフレット・チラシ 市民公開講座の開催（委託事業） 県広報誌（彩の国だより）による広報 県広報番組（ラジオ）による広報 包括的連携協定締結企業の広報誌等への掲載	ポスター・リーフレット・チラシ 市民公開講座の開催（委託事業） 県広報誌（彩の国だより）による広報 県広報番組（ラジオ）による広報 包括的連携協定締結企業の広報誌等への掲載						
	肝臓病相談センターの設置・運営		相談件数	144 件	164 件	117 件	件	件	件			

※ R4.1月現在 S：目標達成、A：目標達成に向けて順調に進捗しており、目標を達成する見込み B：進捗がやや遅れており、更なる取組が必要 C：進捗が著しく遅れており、目標達成が困難

医療圏ごとの人数（専門医・研修会受講医師、肝炎Co）について

令和6年1月1日現在

医 療 圏	人 口	専 門 医	研 修 会 受 講 医	医師 10万人 当たり	医療Co		地域Co	
					人数	10万人 当たり	人数	10万人 当たり
①埼玉医科大学病院	651,541	23	56	12.13	84	12.89	22	3.38
②さいたま市	1,345,996	63	115	13.22	62	4.61	71	5.27
③川越	618,180	17	40	9.22	70	11.32	30	4.85
④西武線沿線県南	632,306	30	34	10.12	47	7.43	8	1.27
⑤東武東上線沿線県南	468,574	19	32	10.88	23	4.91	19	4.05
⑥埼京線・京浜東北線南	809,723	32	59	11.24	87	10.74	15	1.85
⑦県中央	624,909	32	53	13.60	81	12.96	13	2.08
⑧県北	538,713	22	75	18.01	62	11.51	5	0.93
⑨県南東	1,149,907	49	87	11.83	89	7.74	44	3.83
⑩県北東	490,244	16	38	11.01	27	5.51	17	3.47

目標値

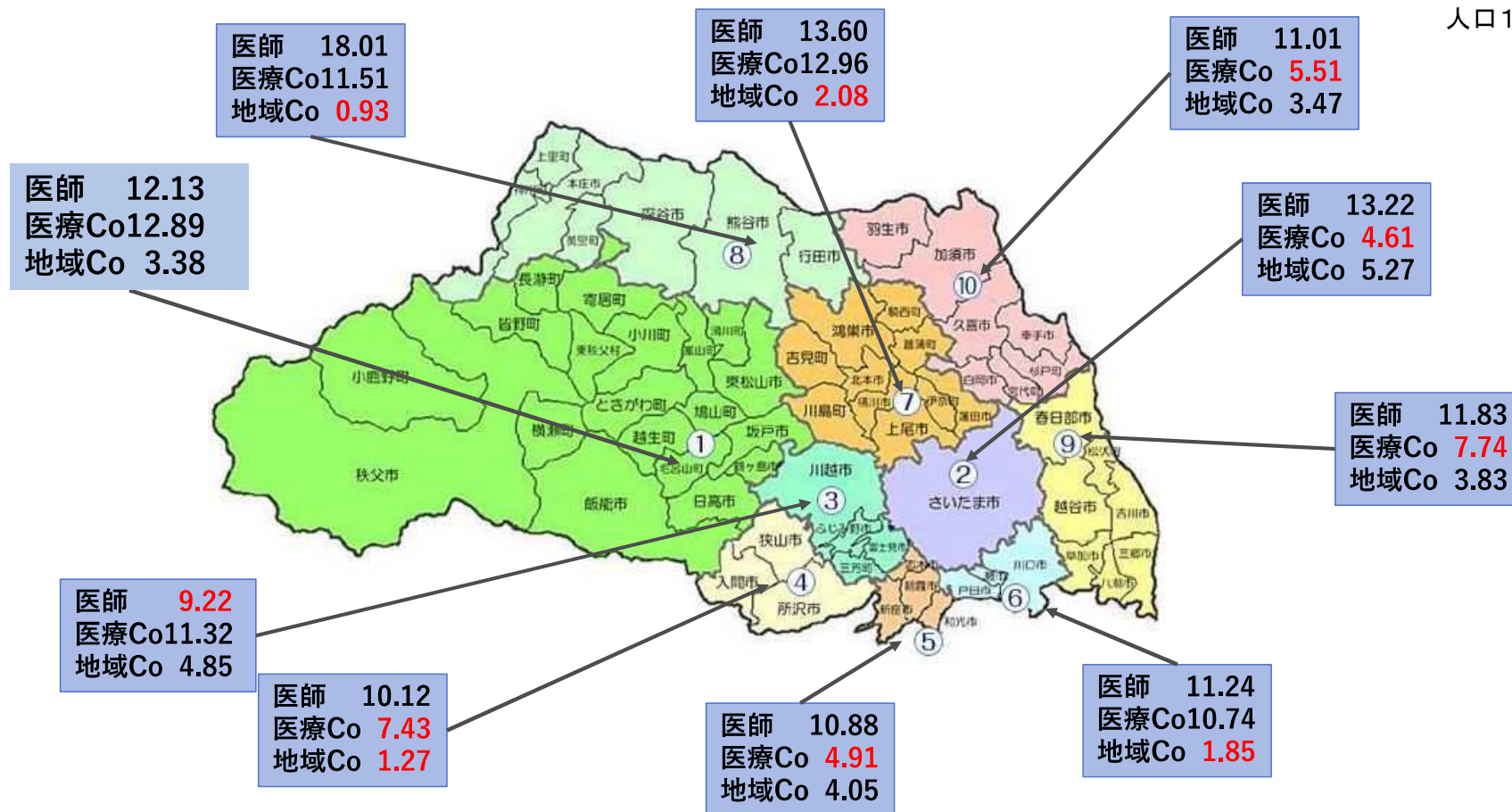
10人

10人

3人

医療圏ごとの人数（専門医・研修会受講医師、肝炎Co）について

人口10万人あたり人数

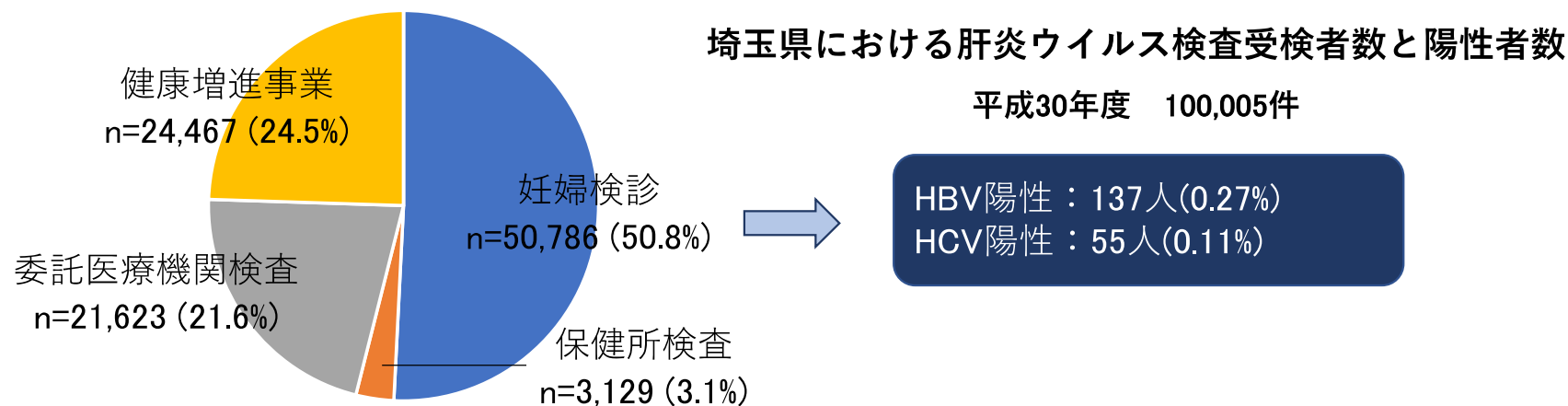


C型肝炎の母子感染対策について

R6. 11月 埼玉県立小児医療センター 消化器肝臓科 岩間科長から御意見

「妊婦健診の陽性者の人数から、垂直感染したC型肝炎の子供もいると思われるが、県立小児医療センターには少なくとも7年は母子垂直感染を由来とするC型肝炎の患者が来ていない。

妊婦健診でC型肝炎陽性と判明した場合に、子に関する受診勧奨が十分に行われておらず、その結果、検査・治療に結びついていないC型肝炎小児が県内に埋もれてしまっているのではないか、と気がかりになっている。」



C型肝炎の母子感染対策について

取 組 み	主な対象者	内 容
取組① パンフレット「ママと赤ちゃんの肝炎のお話」の改訂	妊婦	妊婦健診で陽性と判明した母親に対し保健センター等で配布しているパンフレット。垂直感染への啓発を強める。
取組② ウイルス性感染の検査結果告知に関する講習会での呼びかけ	各医療機関の病院長や医療安全管理者等	術前検査や産科での検査等の際に、肝炎陽性と判明した場合、告知と受診勧奨を呼びかける講習会を開催。
取組③ 肝炎（医療・地域）コーディネーター研修会での呼びかけ	肝炎（医療・地域）コーディネーター	医療機関、企業、行政機関職員等において、肝炎患者への助言等を行うコーディネーターに呼びかけを行う。
取組④ 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会での呼びかけ	地区拠点病院医師	地区拠点病院（16機関）の連絡協議会の際に呼びかけを行う。



赤紙の赤ちゃんとお母さんの健康を守るために、妊婦健診で肝炎ウイルス検査は、妊婦健診の検査の一つです。
B型肝炎ウイルス（HBs 抗原）、C型肝炎ウイルス（HCV 抗体）
ふたつの検査を行いました。

肝炎ウイルスは、肝臓の病気を起こすウイルスです。
でも、大丈夫
このパンフレットで

赤ちゃんへの感染予防 と お母さんの健康管理
についてご案内します

肝炎ウイルス「陽性」って
どんな意味？

肝炎ウイルスが
あると
どうなる？

赤ちゃんへの
感染を防止
するために

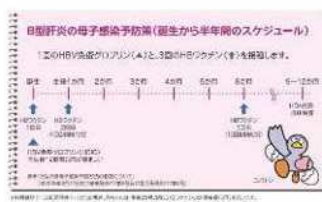
妊婦健診で陽性（+）→B型肝炎ウイルスに感染しています。
HCV抗体が陽性（+）→C型肝炎ウイルスに感染している
可能性があります。

B型肝炎ウイルスは、主に血液や体液から感染します。
そして胎盤を介して赤ちゃんに感染します。
検査陽性は、肝臓の細胞が炎症を起こしている状態です。
進行して、肝臓が硬くなる場合もあります。
肝臓の検査は、妊娠が完了してから行うことができます。

赤ちゃんの感染を防ぐにはB型肝炎ウイルスです。

お母さんの体の中に肝炎ウイルスがあると、妊娠中や出産のときに
赤ちゃんに感染することがあります。
特に妊娠中や出産時にB型肝炎ウイルスの感染を防ぐために、
お母さん、赤ちゃんはワクチンや薬を接種します。また、出産後、
お母さんのおっぱいでも感染することがあります。おっぱいを吸った
お母さんの乳が、赤ちゃんの口に入る場合があります。

B型肝炎ウイルスの検査は、お母さんへの検査結果を知らせることで、
赤ちゃんへの感染を防ぐことができます。



肝炎地域コーディネーターのフォローアップ研修会について

	対 象 者	主 な 役 割	新 規	更 新（現状）	更 新（案）
肝炎医療Co	医療機関、薬局の従事者等	患者及び家族からの相談対応等	肝炎医療Co養成研修会	肝炎医療Co研修会（フォローアップ）	肝炎医療Co研修会（フォローアップ）
肝炎地域Co	企業、行政、患者会会員等	肝炎ウイルス検査の啓発、助成制度の案内等	肝炎地域Co養成研修会	肝炎医療Co研修会（フォローアップ）	肝炎地域Co養成研修会

肝炎地域Co養成研修会

講 義 内 容
肝疾患の病態、治療方法について
仕事と治療の両立について
患者心理について
埼玉県の助成制度について

肝炎医療Co研修会（フォローアップ）

講 義 内 容
ビデオ（日本の肝炎対策／肝炎医療Coの現状・活動 資材・活動事例／肝炎対策基本指針・改正のポイント）
パネルディスカッション （肝炎コーディネーターの活動好事例）
B 型・C 型肝炎の最新の話題、医療制度について

医療圏ごとの人数（専門医・研修会受講医師、肝炎Co）について

人口10万人あたり人数

